

インナーハウスプレゼン部門 2016 専用企画シート

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。

大学・学部・所属ゼミナール名（フリガナ）

フリガナ) チュウオウダイガク	フリガナ) ショウガクブ	フリガナ) ワタナベタケオゼミナール
中央大学	商学部	渡辺岳夫ゼミナール

※チーム名は参加申込書に記入した名称を記入してください。

チーム名（フリガナ）	代表者名（フリガナ）	チーム人数 (代表者含む)	PPT 動画 (有・無)
フリガナ) アンタッチャブルハン	フリガナ) ヤマザキリョウハイ		
アンタッチャブル班	山崎凌平	5人	無

研究テーマ（発表タイトル）

ジョブクラフティングの先行要因と効果に関する実証研究

※必ず＜企画シート作成上の注意＞を確認してから、ご記入をお願いいたします。

1. 研究概要（目的・狙いなど）

近年の組織に関する研究では、従業者が自律的に職務設計することを促す必要性が喚起されている。その中で近年ジョブクラフティングという概念が注目を集めているが、未だ日本における研究が蓄積されていない指摘がある。そこで本研究では先行要因と効果を明らかにすることを研究意義とする。また、ジョブクラフティングは大きな効果をもたらすことが期待される一方、導入リスクをはらんでいることが多くの研究者から指摘されているため、どう軽減するかをその解明をすることも本研究で明らかにしたい。それらを通じ日本におけるジョブクラフティング研究の知見の蓄積や、日本企業における組織の活性化に寄与したい。

2. 研究テーマの現状分析（歴史的背景、マーケット環境など）

通常、従業員に動機づけをもたらす職務設計は、組織あるいはそれを代替する上司によってなされることが想定されてきたが、近年の経済不況から企業が低迷を続けている状況から従業員一人一人が主体的に職務の設計をする必要に迫られている。このような状況下において、ジョブクラフティングという概念が注目を集めた。ジョブクラフティングとは、「職務や人間関係の物理的・認知的境界の改変行動」である。既存の研究とは違い、ジョブクラフティングが注目されている理由は、ジョブクラフティング行動は人間に内在している欲求から生じている点にある。従業員は自らの欲求から職務や人間関係、認知を改変するところで、自らのしたい職務と既存の職務を接近させ、職務満足度・モチベーションを高めることができる。この、欲求から生じている点において、ジョブクラフティングは既存の職務設計における研究にくらべて優れているといえる。このような理由から、ジョブクラフティング研究は大変意義のある研究である。しかしながら、国内・外において、ジョブクラフティングを研究は未発達であり、明らかになっていない点が多い。また、ジョブクラフティング行動は欲求から生じているゆえ、組織目標に沿っていない行動になることが示唆されており、その解決方法は解明されていない。よって、本研究においては、「ジョブクラフティング行動の先行要因・効果」そして「組織企業における、ジョブ

「クラフティングの導入リスクの軽減の方略」を解説したい。

3. 研究テーマの課題

- 1 ジョブクラフティングの先行要因・効果の解明
- 2 組織企業における、ジョブクラフティングの導入リスクの軽減

4. 課題解決策（新たなビジネスモデル・理論など）

本研究ではジョブクラフティングの先行要因として、集約的効力感という概念に焦点を当てた。集約的効力感は組織成員としての協働意欲を高めるという知見から、集約的効力感によりもたらされたジョブクラフティングは危惧されている問題を発生させることなく職務パフォーマンスの向上につながることを、先行研究の知見から推測し、仮説立案・統計分析を行った。

5. 研究・活動内容（アンケート調査、商品開発など）

組織心理学研究を行うにあたり、約9ヶ月に渡る先行研究のレビューから得た多くの知見を踏まえ、グループディスカッションを通じ本研究の仮説を立案した。また、仮説の実証にあたりアンケート調査を行い入手した103名分のデータを用いて統計分析を行った。

6. 結果や今後の取り組み

仮説を実証すべく統計データを基に分析を行ったが、想定していたモデルの適合度が低かったため、モデルを一部修正し再度分析を行った。その結果、十分に妥当性のあるモデルが完成し、集約的効力感が認知的クラフティングを高め、認知的クラフティングが職務パフォーマンスを高めることが明らかになった。

7. 参考文献

非常に量が多いため、全て発表スライドに明記しました。

インナーハウスプレゼン部門実行委員会への連絡事項

＜企画シート作成上の注意＞

※本企画シートは審査の対象となります。

※本企画シートは、「日本語」で書かれたものとし、1チーム・1点提出してください。

※本企画シートの項目に沿って、ご記入をお願いいたします。各項目に文字数制限はありませんが、1~7以外の項目を追加することは「不可」とさせていただきます。

※本企画シートは、インナーハウスプレゼン部門実行委員会への連絡事項と企画シート作成上の注意を含め、3ページ以内に収めてください。実行委員会から審査員に渡す際は、A4サイズでプリントし、3ページ目までをお渡しします。

※大会参加申込み時点から、「参加メンバー」の変更があった場合、上記「インナーハウスプレゼン部門実行委員会への連絡事項」に記入してください。なお、参加申込書提出時からのチーム名変更は「不可」とさせていただきます。

※企画内容は、未発表の（過去に他誌・HPなどに発表されていない）ものに限ります。ただし、学校内での発表作品は未発表扱いとなります。

※商品写真、人物写真、音楽などを掲載・利用する場合、必ず著作権、版権の使用許諾を得てください。日本学生経済ゼミナール関東部会・日経BP社・日経BPマーケティング社は一切の責任を負いません。

※書籍や新聞等の文献から引用した場合は、出典先（使用した文献のタイトル・著者名・発行所名・発行年月など）を明記してください。統計・図表・文書等を引用した場合も同様に明記してください。また、Webサイト上の資料を利用した場合は、URLとアクセスした日付を明記してください。

※電話番号や住所などの個人情報は記載しないでください。